

水周りのカビ取り

お風呂のタイルや台所の防水シールに黒い汚れがありませんか。
今の季節、放っておくとどんどんカビが広がります。あきらめる前に、まずは手入れを。
今回は、カビ取りと防水シールの取り替えです。

これだけは注意!

■必ず換気をしましょう

カビ取り剤の匂いによって、気分が悪くなる場合があります。
窓を開ける、換気扇を回すなど換気を十分に行いながら作業をしましょう。さらに、マスクの着用をお勧めします。

■ゴム手袋をしましょう

カビ取り剤が肌に付くと、肌荒れの原因になります。
ゴム手袋を着用しましょう。
また皮膚に付いたら、ぬめりが取れるまで水で十分に洗い流して下さい。

1 きれいに塗るコツ



カビに直接スプレーします。
数分間そのままにし、水で洗い流して下さい。

MEMO

!注意!危険!

酸性洗剤とは併用しない
カビ取り剤は塩素系洗剤です。酸性タイプの洗剤と混ぜたり併用したりすると、有害なガスが発生し、とても危険です。
絶対にしないで下さい。

2 高いところのカビ取り



高い場所のカビ取りは、柄の付いたスポンジなどに液をスプレーして、塗ると良いでしょう。高い所に液を直接スプレーすると、垂れてきた液が目に入ったり皮膚に付いたりする場合があります。危険です。

3 水周りをキレイに

防水シールにも、カビが生えてきます。カビ取り剤でキレイにすることができますが、どうしても落ちない場合は、防水シールを取り替えましょう。

4 補修の手順1



補修カ所の古いシールを、カッターなど先の尖ったものではぎ取ります。湿ったまま充填剤を使うと、充填剤がつきにくくなったり、カビが生えてくる可能性があります。

5 補修の手順2



補修カ所の両側にマスキングテープを貼ります。
ノズルの先をすきま幅に合わせ、カッターで切ります。

6 補修の手順3

充填材のキャップをノズルに取り替え、絞り器をチューブにセットします。

7 補修の手順4

補修カ所にノズル先を押しつけるように充填していきます。

8 補修の手順5



充填材を付属のへらで、押さえるようになります。

9 補修の手順6

マスキングテープをはがし、およそ24時間放置します。充填材がゴム状に

固まったら出来上がりです。

10 充填剤の取り扱い**■ 充填剤の取り扱い**

充填材が固まる前なら、塗料うすめ液で拭き取ることができます。

服に付いたら落とせないため、作業中は、ゴム手袋やエプロンをつけた方が良いでしょう。

Howto^{なび}

動画でもっとわかりやすく！
暮らしに関するHowto情報を動画で配信中。

**How To 情報**

コメリドットコム「HowTo情報」には、DIY情報、住まいや暮らしに役立つノウハウが満載です。

